



# やきゅう ろくろ野球

つか  
使ったもの

ろくろ・<sup>ばつと</sup>バット・<sup>いた</sup>板・<sup>わな</sup>輪投げの輪・<sup>ろーぷ</sup>ロープ  
<sup>にぎぼう</sup>握り棒・<sup>ようじょうてーぷ</sup>養生テープ・<sup>もっこうぼんど</sup>木工ボンド



<sup>こてい</sup>ろくろを固定させる<sup>いた</sup>板

ろくろ

<sup>わな</sup>輪投げの<sup>わ</sup>輪

<sup>ろーぷ</sup>ロープ

## ろくろ<sup>やきゅう</sup>野球

こうとうぶたいいく <sup>じゅぎょう</sup> しょう  
高等部体育の授業で使用しています。

わなげ わ て ま っ  
輪投げの輪や手などに巻き付けことのでき

る自在棒<sup>じざいぼう</sup>を持って引っ張<sup>ひ</sup>ることでバットが

まわります。こうすることでバットを振る

のが苦手な生徒もボールを打つことができ

ます。実際の試合では、ボールが転がって

くる前からまわし、タイミングが合えば当

たって飛んだり転がったりします。転がっ

たフィールドの表示<sup>ひょうじ</sup>によって点数が入った

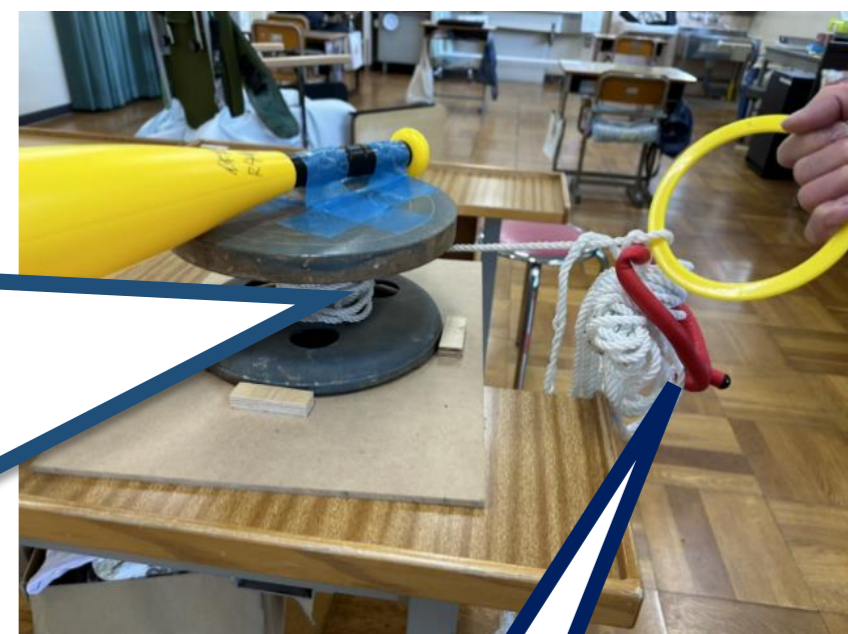
り、アウトになったりします。机<sup>つくえ</sup>を変えたり

箱<sup>はこ</sup>など物<sup>もの</sup>をはさんだりすることで生徒に

あった高さ<sup>たか</sup>や距離<sup>きょり</sup>などを調整<sup>ちようせい</sup>します。

巻き<sup>ま</sup>つけた

ロープ<sup>ろーぷ</sup>



じざいぼう  
自在棒